

2021年度 会社説明会
主な質疑応答

- Q1. 保有する政策投資株式の時価は？また、今後の方針は？
A1. 政策投資株式の時価は約 1,300 億円。今後もコーポレートガバナンスコードに則り適切に対応していく。
- Q2. 他行との提携に対する考えは？
A2. 他行との経営統合、合併、提携は現状考えていない。持続可能なビジネスモデルを確立することを最優先に取り組んでいきたい。
- Q3. 2020年3月期の貸出金の増加率は12%台であったが、どのように分析しているか？
A3. 貸出金の増加率については、各行の基準となる残高や預貸率が違い一概にはいえないため、重要視していない。
- Q4. 2021年3月期はコロナ関連融資と預金残高が増加したが、2022年3月期の見込みは？
A4. 2022年3月期の貸出金の期中平残は3兆2,016億円、前期比約1,700億円の増加を見込んでいる。営業店の法・個人向け融資や本部の運用がそれぞれ増加する計画。予防的に借入されたお客さまが繰上げ返済することも考えられるが、現時点では貸出金が減少するという予想はしていない。
- Q5. 2022年3月期の役務利益が2021年3月期対比で減少する理由は？
A5. 法人業務手数料は16億円とほぼ同額に対し、預かり資産販売手数料が24億円から21億円に減少する計画となっている。上振れする可能性もあるが、2021年3月期は株式市況が好調であり、投資信託の販売も伸びたため反動減を見込んでいる。
- Q6. ゼロゼロ融資の民間金融機関での取扱いが終了したが、2022年3月期の貸出実行額への影響は？
A6. 2021年3月期はゼロゼロ融資により貸出金が大幅に増加したため、取扱期間終了により貸出金の増加率が低下する可能性がある。融資の増加も大事だが、それが全てではなく、伴走型支援も含めトータルなリレーションを築き、付加価値を提供しながら地域に貢献していきたい。

以上